

2

持続可能な社会の実現に向けた NTTの取り組み

2-1. NTTグループCSR憲章からNTTグループサステナビリティ憲章へ

(1) CSRの取り組みの経緯

NTTグループは、民営化以降、「企業の社会的責任(CSR)」を重要視し、ICTを活用した社会貢献活動や環境保全、地域社会の支援に積極的に取り組んできた。

一社時代には、本来業務である通信サービスの全国展開と安定供給を最優先事項とし、特に地方や離島など通信環境が整っていない地域にインフラを提供するとともに、24時間体制の故障修理サービスや、大規模災害時の通信復旧体制を構築するなど、社会インフラとしての通信の安定供給に取り組んだ。また、「環境に配慮した事業運営」の重要性を認識し、通信設備に耐久性やリサイクル性に優れた素材を使用した機器を導入するなど、環境への配慮を重視するようになった。あわせて、自然保護活動や文化活動、スポーツ振興に取り組むとともに、社員がボランティア活動に参加できる環境を整備するなど、社会貢献活動への取り組みの幅を広げ、NTTグループの社会基盤としての信頼性の確保に努めた。

グループ再編後は、グローバル化と環境意識の高まりの中で、1999年に「NTTグループ地球環境憲章」を策定し、温室効果ガスの排出削減やエネルギー効率の向上をめざした。さらに、2002年には「環境負荷ゼロをめざす」との目標を掲げ、省エネ型データセンターやリサイクル型通信設備を推進するなど、環境負荷低減に本格的に取り組んだ。また、地方自治体と連携した観光促進プロジェクトや地方創生プランなどの地域振興、遠隔医療や見守りサービスによる社会課題の解決にも取り組み、地域社会との連携を強化した。あわせて、コンプライアンス経営を重視し、法令遵守や企業倫理に関するガバナンス体制を改善し、透明性の高い経営にも取り組んできた。

こうした取り組みの一環として、2006年には、NTTグループ全体が企業の社会的責任を果たすための基本方針を示した「NTTグループCSR憲章」を制定した。この憲章は、企業活動を通じて社会課題の解決に貢献し、持続可能な社会を実現するというNTTグループの理念を反映したものである。NTTグループ全体の行動指針を統一し、グ

ローバルな視点でのCSR活動を推進することで、社会の持続可能な発展に寄与することをめざしている。

NTTグループCSR憲章は、「社会への貢献(ICTの力を活用して、社会全体の利便性と豊かさを向上させる)」「地球環境の保護(環境に配慮した事業運営を行い、持続可能な社会の構築に貢献する)」「ガバナンスと倫理(高い倫理基準とコンプライアンスを維持し、透明性の高い経営を実現する)」「多様性とインクルージョン(D&I)の推進(多様な人材の能力を引き出し、公平で差別のない職場環境を提供する)」「持続可能な価値の創造(イノベーションを通じて、社会課題を解決し、経済的・社会的価値を同時に創出する)」などを掲げ、「人と社会のコミュニケーション」「人と地球のコミュニケーション」「安心・安全なコミュニケーション」「チームNTTのコミュニケーション」の4つのCSRテーマのもとに、NTTグループの事業活動が社会や環境に与える影響を重視し、持続可能な未来の実現をめざす指針の役割を果たした(図表4-2-1)。

図表4-2-1 ▶NTTグループCSR憲章のテーマ



出所：NTT『NTTグループサステナブルアクションレポート』